

大阪経済記者クラブ会員各位
(同時参考配付: 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ)

国土交通省 近畿運輸局
公益社団法人 関西経済連合会
一般財団法人 関西観光本部

訪日外国人旅行者向け 関西統一交通パス「KANSAI ONE PASS」のデータ分析結果を公表します。
～訪日外国人旅行者の関西への誘客・回遊促進を目指して～

近畿運輸局、関西経済連合会(以下、関経連)および関西観光本部(以下、観光本部)は、このたび訪日外国人旅行者(以下、訪日客)向け関西統一交通パス「KANSAI ONE PASS」の利用実績等のデータ分析結果を取りまとめました。

今回の分析は、「KANSAI ONE PASS」の乗降履歴データ^{※1}を用い、ICカードならではの特性を生かして訪日客のリアルな動態を分析した全国でも先進的な試みで、関西の交通事業者、関西エアポート(株)にもご協力をいただき、利用者アンケート^{※2}、専用WEBサイトのアクセスデータ^{※3}からも多角的に分析しました。

※1:平成28年4月～12月利用分の42,130サンプル、※2:平成28年4月～7月利用者の600サンプル
※3:平成28年4月～平成29年2月利用分の約21万ユーザー、約200万ページビュー

【トピックス】

①「KANSAI ONE PASS」は非常に好評【p.11】

・利用者の約9割が「大変満足」「満足」と回答。同じく約9割が「共通パスの利便性」を評価している。

＜「KANSAI ONE PASS」の利用状況＞【p.2～3】

平均利用回数:32.5回、平均利用日数:5.5日、平均利用額:5,090円、平均チャージ回数:2.9回。

②関西における広域周遊観光を誘発【p.6～8】

- ・52%の利用者が「KANSAI ONE PASS」により訪問観光地数が増えたと回答し、平均で訪問地が2.9箇所増加。
- ・関西2府4県内で3府県以上を訪問した利用者は約40%。(府県間移動では「大阪-京都」間が最多)
- ・府県別の滞在時間は大阪府が約63時間で最大、奈良県が約5時間で最小。
- ・神戸市や奈良市を訪れた利用者の多くがその日大阪府で最終降車しており、同府内で宿泊したと推測される。
- ・現時点では、特定の地域、スポット(大阪の難波、USJ、京都の伏見稻荷等)に訪日客が依然として集中する現象も見られるが、今後、他の地域に関する情報提供を強化することで、周遊拡大のポテンシャルはあるものと考えられる。(例:本年3月から「食」に関する観光情報を専用WEBサイトに追加掲載)

近畿運輸局、関経連、および観光本部では、これらのデータ分析結果をもとに、さらなるインバウンドの促進に向けて、体制の充実や、訪日客の周遊・消費の拡大、満足度向上に関する対策を検討し、関西における広域周遊観光の推進に努めてまいります。

[添付資料] 「KANSAI ONE PASS」の概要、「KANSAI ONE PASS」利用実績等データ分析(概要)

以上

問い合わせ先

- 国土交通省近畿運輸局 … 交通政策部 杉本 06-6949-6409 観光部 福元 06-6949-6466
- 公益社団法人 関西経済連合会 … 企画広報部 虎竹 06-6441-0105
- 一般財団法人 関西観光本部 … 戦略企画部 巽 06-6223-5400

<「KANSAI ONE PASS」の概要>

昨年4月から約1年間で約60,000枚を試験販売した「KANSAI ONE PASS」は、本年4月17日(月)からレギュラー販売に移行し、発売額をこれまでの3,000円から2,000円に変更しています。平成29年度の年間販売目標枚数は90,000枚です。



平成28年度(実証実験)3,000円券



平成29年度(レギュラー販売)2,000円券

(c)Tezuka Productions

1. 名称 「KANSAI ONE PASS」(関西ワンパス)
2. 発売期間 平成28年度(実証実験)…平成28年4月8日～
平成29年度(レギュラー販売)…平成29年4月17日～
3. 価格 平成28年度(実証実験)…3,000円(デポジット500円+利用額2,500円)
平成29年度(レギュラー販売)…2,000円(デポジット500円+利用額1,500円)
※チャージ上限20,000円まで
4. 販売枚数 平成28年度(実証実験)…60,000枚
平成29年度(レギュラー販売)…90,000枚(予定)
5. 販売条件 訪日外国人のお客様に限定して販売 ※販売時にパスポートを確認
(日本国以外の政府等が発行した旅券を有し、「短期滞在」に該当する在留資格を有するお客様に限り、ご購入、ご利用できます)
6. 券面デザイン 関西にゆかりのある手塚治虫氏のイラスト「鉄腕アトム」を起用
7. 販売箇所 関西空港、京阪神などの各社局主要駅19箇所
8. 利用可能エリア 「ICOCA」エリアや「PiTaPa」エリアなど、「ICOCA」利用可能エリア(鉄道・バス)
9. 主な特長
 - ・JR西日本の「ICOCA」をベースとしたチャージ式交通ICカード。
 - ・カードの提示により、関西国際空港内の約60店舗を含めた約200箇所のショッピング施設や観光スポットにおいて優待特典が受けられます。
 - ・専用のWEBサイト(<http://kansaionepass.com>)において、「KANSAI ONE PASS」の利用方法、優待特典情報および関西の観光情報(約500箇所)を確認できます。
 - ・カード販売時に、関西広域の鉄道路線マップ付き利用ガイドを配付します。利用ガイドには、上記WEBサイトに誘導するQRコードを掲載しています。
 - ・上記WEBサイトおよび鉄道路線マップ付き利用ガイドは、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語の4言語に対応しています。

以上